

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援あいすてっぷ		
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 15日		令和7年 11月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 15日		令和7年 11月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 11月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・プログラム、月ごとのイベントが豊富。	・年齢やスキル別にプログラム内容を調整している。 ・外出、外食支援なども定期的に取り入れ、公共の場でのマナーや集団生活の支援を行っている。	・保護者参加のプログラムを計画していく。
2	・保護者の方とのコミュニケーション、情報共有、SNSの発信などに力を入れている。	・送迎時や連絡帳での日頃のやりとりを大切にしている。 事業所、家庭、園での様子を情報共有し、支援の内容に取り入れている。 ・定期的に子ども達の様子をSNSやおたよりを通して発信している。	・保護者同士がコミュニケーションとれる機会を作っていく。 ・送迎利用のご家庭とも、より密な連携を図れるように働きかけていく。
3	・一人ひとりに合わせた支援を提供している。	・行動を分析して支援方針を検討、実践している。 ・支援の振り返りを行い、支援の結果がどうだったかを職員間で情報共有し、次回の支援方針を検討している。	・支援の質を高めるために、研修や勉強会への参加。 ・支援に関する書籍や資料を充実させ、自ら学べる環境づくり、機械の確保に努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者が支援の様子を見る機会がない	・保護者参加の行事をしたことがない。 ・室内は子どもが過ごすスペースとしては十分だが、大人十数人見学できるほどの広さはない。 ・駐車スペースがない。	・保護者の方が自由に参加できる期間を設けて、来所する人数を分散させて実施できるか検討する。 ・保護者相談や情報交換、保護者同士が集まって交流する機会を作っていく。
2	・駐車スペースが少なく、送迎時に混雑する。 ・玄関の構造上人の出入りがしにくい。	・駐車するスペースが明確ではない。 ・車の出入りを考えると車を止められる台数が限られる。	・駐車する場所を保護者の方にわかりやすいよう明確にする。
3	・送迎利用できる範囲や曜日が限られてしまう。	・送迎車が1台しかないため、送迎移用できる人数が限られてしまう。また、ルートの関係で送迎範囲が限られてしまう。	・送迎車の検討。 ・送迎体制を整えるための人員確保。